

6月11日 「平和・無防備
地域宣言を実現する堺市民
の会」結成の集い報告
堺市民の会

大阪府堺市は、この春に政令指定都市になりました。人口83万人の、大阪府で2番目に人口の多い街です。実は政令指定都市になる過程で、美原町と合併したのですが、その際合併の是非を問う住民投票条例が議会に提出され、議会はこれを否決しています。イラク戦争に唯一反対決議を行なった核条例を持つバークレー市と姉妹友好都市を結んでいます。堺市当局にこうした施策に学ぼうという姿勢は見受けられません。

堺市を知る連続学習会で
見えてきたもの

昨年10月に準備会を発足し、まず行ってきたことは堺市の戦争や平和に関する歴史を学ぶことでした。「南蛮船は入港しなかった。堺意外史」などの著書で知られる中井弘さんは、堺市大空襲にいたるまでに住民がいかにして戦争に協力していったのかを当時の写真とともに解説されました。パケツリレーの様子を写したものなど、今見れば馬鹿げた様子に見えるかもしれないが大規模な軍事演習などとあわせて徐々にたくみに戦争に反対できない空気を作り出していたそうです。

署名の目標数は30000人

この間、2回にわたって堺市危機管理室と国民保護計画に関する交渉を行ってきました。堺市は、有事体制づくりにことのほか熱心で、2年前には陸自一佐(大佐)クラスの退職自衛官を危機管理室に嘱託採用し、今年4月には、新設の市長補佐官に「危機管理担当」を設けています。そして、何

より恐ろしいと感じるのはこうした戦争準備が市民の知らないところで徐々に進められていることです。法定署名数は133000人。目標数は30000人。秋のスタートに向けて、国民保護計画の実態を広く市民に宣伝し、受任者を集める勝負の時期になってきました。いろいろと作戦と工夫を重ね、がんばりたいと思います。

最後に結成の集いでの講演を快く引き受けていただいた澤野教授、週刊MDS豊田記者、そして、本当に勇気の出る励ましの言葉をかけていただいた枚方市、京都市、大津市、奈良市、西宮市市民の会の皆さん、本当にありがとうございます。この場を、お借りしお礼を申し上げます。



たものだから」というものでしたが、今までの無防備条例を取り組んだ自治体では「賛成」の立場から積極的に議論を進められていただけに、返す返す残念です。署名を担った方々から「何故」という強い疑問が寄せられ、私達は会として質問状を送り、回答を求めています。

議会審議直前の日本共産党議員団の棄権、民主党小岩井議員からは賛成できない旨の連絡があり再要請を行えばたとえと当日を迎えましたが、12550筆の署名50名を超える傍聴が、議会審議を規定したと思いません。

一方、学習会を行い保守系会派がまとまり、代表で反対討論を行ったこと、市長意見書や総務部の答弁等に、政府からの強い指示・指導を感じました。政府は、強い危機感を持つて無防備条例運動を見えています。

だからこそ、どこかで条例化を勝ち取りたいと強く思いました。私達の戦いもこれを期に足元から、一層粘り強く取り組まねばと思いついた一日でした。